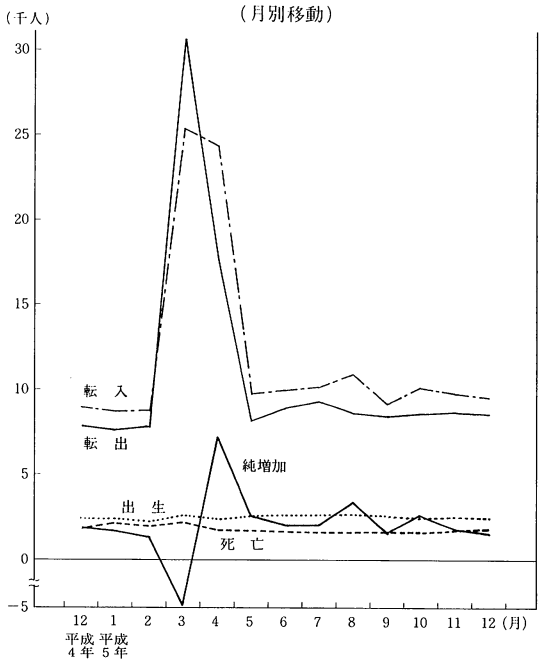
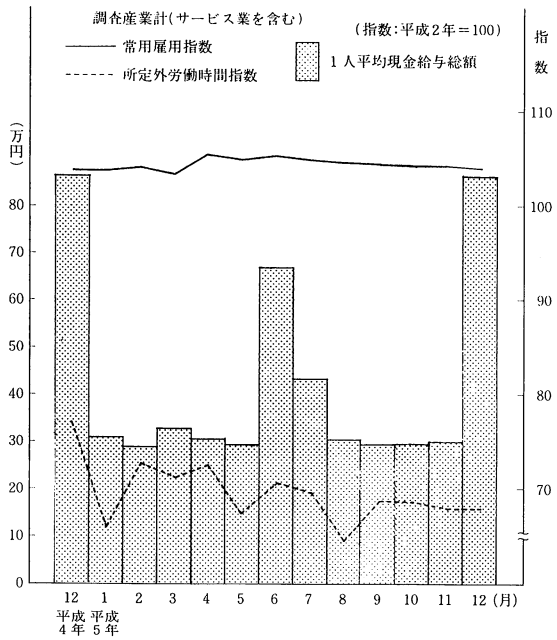
今月の主な動き

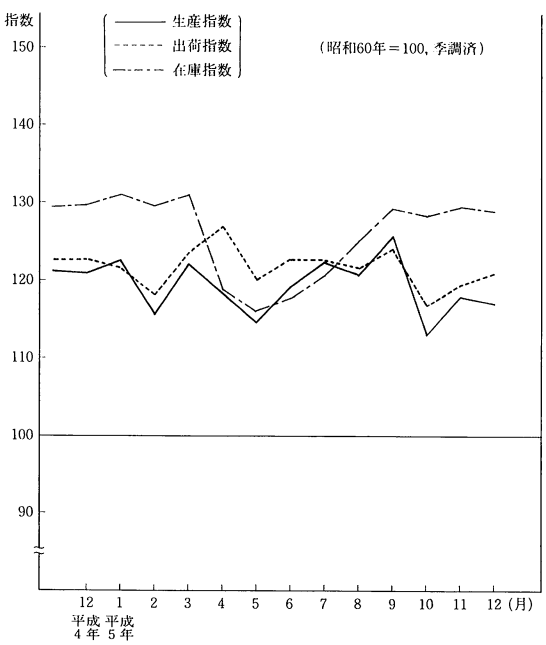
人　　口



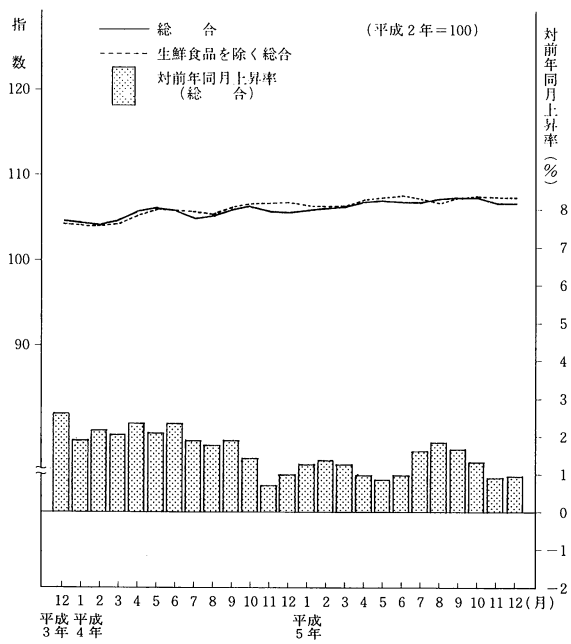
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



主な動きのあらまし……企画部統計課

■人　口（1月1日）

本県の人口は，12月中に1,423人増加し，1月1日現在で2,932,403人（男1,465,818人，女1,466,585人）となった。

内訳は，自然動態で468人（出生2,227人，死亡1,759人）増加し，社会動態で955人（転入9,329人，転出8,374人）増加した。前年同月と比べると21,919人（0.75%）の増加である。

市町村別では，増加が13市34町村，減少が7市31町村，増減なしが2町である。

世帯数についても12月中に741世帯増加し898,115世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用

（注）今回は，掲載月が遅れていた集計結果をまとめて掲載します。

（10月）

1．平均賃金の推移

10月の現金給与総額は，調査産業計で293,630円，対前年同月比1.2%増，このうち，きまって支給する給与は292,690円，対前年同月比1.1%増であった。また，このうち，所定内給与は266,776円，対前年同月比0.9%増であり，超過労働給与は25,914円，対前年同月比0.3%減であった。

なお，物価上昇分を差し引いた実質賃金は，対前年同月比0.3%増であった。

2．労働時間

10月の総実労働時間は，調査産業計で161.2時間，対前年同月比5.2%減であった。このうち，所定内労働時間は147.9時間，対前年同月比5.0%減，所定外労働時間は，13.3時間，対前年同月比7.5%減であった。

3．雇用の動き

10月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると，対前年同月比0.8%増であった。

（11月）

1．平均賃金の推移

11月の現金給与総額は，調査産業計で298,192円，対前年同月比4.3%減，このうち，きまって支給する給与は291,161円，対前年同月比もちあいであった。また，このうち，所定内給与は265,944円，対前年同月比0.3%増であり，超過労働給与は25,217円，対前年同月比6.7%減であった。

なお，物価上昇分を差し引いた実質賃金は，対前年同月比4.6%減であった。

2．労働時間

11月の総実労働時間は，調査産業計で165.2時間，対前年同月比2.3%減であった。このうち，所定内労働時間は152.0時間，対前年同月比1.3%減，所定外労働時間は，13.2時間，対前年同月比10.9%減であった。

3．雇用の動き

11月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると，対前年同月比0.6%増であった。

（12月）

1．平均賃金の推移

12月の現金給与総額は，調査産業計で862,068円，対前年同月比0.5%増，このうち，きまって支給する給与は291,856円，対前年同月比0.6%増であった。また，このうち，所定内給与は266,019円，対前年同月比0.7%増であり，超過労働給与は25,837円，対前年同月比4.2%減であった。

なお，物価上昇分を差し引いた実質賃金は，対前年同月比0.1%減であった。

2．労働時間

12月の総実労働時間は，調査産業計で159.0時間，対前年同月比3.2%減であった。このうち，所定内労働時間は145.8時間，対前年同月比2.3%減，所定外労働時間は，13.2時間，対前年同月比11.5%減であった。

3．雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると，対前年同月比0.2%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお，事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(12月分)

本県における平成５年12月の“鉱工業指数”(昭和60年＝100)は，季節調整済指数で，生産が117.0，出荷が120.4，在庫が128.8で，前月比は，生産が0.9%の低下，出荷が1.0%の上昇，在庫が0.7%の低下であった。

前年同月比(原指数)は，生産が3.6%の低下，出荷が2.2%の低下，在庫が0.6%の低下であった。

業種別に前月比をみると生産では，精密機械工業，鉄鋼業，鉱業等が上昇し，繊維工業，一般機械工業，パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。

出荷では，鉄鋼業，鉱業，一般機械工業等が上昇し，繊維工業，金属製品工業，電気機械工業等が低下した。在庫では，精密機械工業，金属製品工業，化学工業等が上昇し，輸送機械工業，電気機械工業，石油・石炭製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では，非耐久消費財，鉱工業用生産財が上昇し，その他用生産財，耐久消費財等が低下した。出荷では，非耐久消費財，資本財等が上昇し，その他用生産財，耐久消費財等が低下した。在庫では，耐久消費財，建設財が上昇し，その他用生産財，資本財等が低下した。

■消費者物価指数(12月)

平成５年12月の茨城県消費者物価指数(県平均)は，総合で106.5(平成２年＝100)となり，前月と変わらず，前年同月比1.0%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……野菜・海草8.0%，飲料2.0%，菓子類1.7%

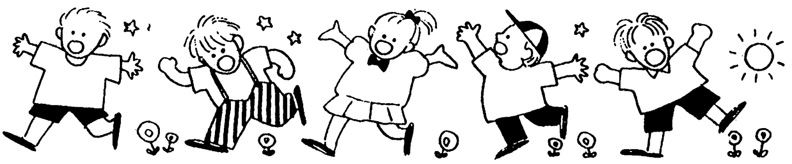
今月の下がった主な項目……果物4.6%，家庭用耐久財1.9%，油脂・調味料1.7%，魚介類，衣料1.4%，乳卵類1.3%，他の光熱1.1%，他の家具・家事用品1.0%

生鮮食品を除く総合は107.3となり，前月比は0.1%の下落，前年同月比は0.8%の上昇となった。

費目別指数

(平成２年＝100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	106.5	0.0	1.0	保健医療	102.6	0.0	0.7
食料	105.0	0.6	1.4	交通通信	99.6	0.1	△0.8
住居	113.5	0.0	2.4	教育	110.1	0.0	3.8
光熱・水道	102.1	△0.2	△0.9	教養娯楽	108.9	0.1	0.6
家具・家事用品	100.5	△1.3	0.1	諸雑費	103.1	△0.1	△0.6
被服及び履物	114.0	△0.9	1.2	生鮮食品を除く総合	107.3	△0.1	0.8



訂　正

1993年12月号「統計の窓」(Ｐ４)で，来年度の第45回全国統計大会の日程等をお知らせしましたが，次のとおり変更となりましたので，御了承願います。

●開催日　(当　初)　平成６年10月27日(木)
　　　　　(変更後)　平成６年11月11日(金)

●場　所　滋賀県大津市　県立体育館